



- しもべの祈り アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン
2Ch 6:19 しかしわが神、主よ、しもべの祈と願いを顧みて、しもべがあなたの前にささげる叫びと祈をお聞きください。
- たましい（ネフェシュ）
生きもの、たましい、命、自分の全て（全身全霊、誠心誠意、人生を懸けて）
- 主の御名（十戒）
Exd 34:4 そこでモーセは・・・シナイ山に登った。彼はその手に石の板二枚をとった。:5 ときに主は雲の中であって下り、彼と共にそこに立って主の名を宣べられた。
Exd 34:6 「主、主、あわれみあり、恵みあり、怒ることおそく、いつくしみと、まこととの豊かなる神、:7 いつくしみを千代までも施し、悪と、とがと、罪とをゆるす者、しかし、罰すべき者をば決してゆるさず、父の罪を子に報い、子の子に報いて、三、四代におよぼす者」。
- 主の御名（モーセの執りなし）
Num 14:18 あなたはかつて、『主は怒ることおそく、いつくしみに富み、罪ととがをゆるす者、しかし、罰すべき者は、決してゆるさず、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼす者である』と言われました。:19 どうぞ、あなたの大いなるいつくしみによって、エジプトからこのかた、今にいたるまで、この民をゆるされたように、この民の罪をおゆるしてください。:20 主は言われた、「わたしはあなたの言葉のとおりにゆるそう。
- 主の怒り、憤り（85篇参照）

- 契約の箱の前で御名に感謝（感謝のいけにえ）
1Ch 16:9 主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしみわがを語れ。
1Ch 16:29 そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えて主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拝め。
- バビロン帰還後、仮庵祭で律法を読み、民が告白する
Neh 9:17 従うことを拒み、あなたが彼らの中で行われた奇跡を心にとめず、かえってかたくなになり、みずからひとりのかしらを立てて、エジプトの奴隷の生活に帰ろうとしました。しかしあなたは罪をゆるす神、恵みあり、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かにましまして、彼らを捨てられませんでした。
Neh 9:5 「レビびとは言った、「立ちあがって永遠から永遠にいますあなたがたの神、主をほめなさい。あなたの尊いみ名（栄光ある名）はほむべきかな。これはすべての祝福とさんびを越えるものです」。
- 全世界で主の御名が賛美される
1Ch 16:24 もろもろの国の中にその栄光をあらわし、もろもろの民の中にくすしみわがをあらわせ。
- 御霊のペンテコステ
Act 2:17 『神がこう仰せになる。終りの時には、わたしの霊をすべての人に注ごう・・・:21 そのとき、主の名を呼び求める者は、みな救われるであろう』。
Act 2:31 キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は陰府に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである・・・:33 それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。